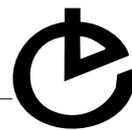


議会だより とくのしま



第177号

平成26年11月1日

発行：徳之島町議会 編集：議会広報編集委員会 〒891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203
TEL 0997 (82) 1111 FAX 0997 (82) 1101



町TMRセンターを視察する議員ら

第3回定例会

9月17日～9月26日

☆ 審議された案件と議決結果

P 14

☆ 一般質問（10氏登壇）

P 15～P22

☆ 議員研修レポート・議会の動き

P 23・P24

☆ 編集後記

P 24

9 月定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	原 案 可 決
・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	原 案 可 決
・町道の延長の変更について	可 決
・平成 26 年度一般会計補正予算 (第 6 号)	原 案 可 決
・平成 26 年度簡易水道事業特別会計補正予算 (第 4 号)	原 案 可 決
・平成 26 年度国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 2 号)	原 案 可 決
・平成 26 年度農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 3 号)	原 案 可 決
・平成 26 年度介護保険事業特別会計補正予算 (第 1 号)	原 案 可 決
・平成 26 年度公共下水道事業特別会計補正予算 (第 2 号)	原 案 可 決
・平成 26 年度地域包括支援センター事業特別会計補正予算 (第 1 号)	原 案 可 決
・平成 26 年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号)	原 案 可 決
・平成 26 年度水道事業会計補正予算 (第 3 号)	原 案 可 決
・平成 25 年度一般会計歳入歳出決算の認定	認 定
・平成 25 年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認 定
・平成 25 年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認 定
・平成 25 年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	認 定
・平成 25 年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認 定
・平成 25 年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認 定
・平成 25 年度地域包括支援センター事業特別会計歳入歳出決算の認定	認 定
・平成 25 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認 定
・平成 25 年度水道事業会計歳入歳出決算の認定	認 定
・議員派遣の件	原 案 可 決
(報告)	
・平成 25 年度健全化判断比率	
・平成 25 年度資金不足比率	
(陳情・請願)	
・ドクターヘリの早期配備を求める要望書	採 択
・各公民館等へのインターネットの接続に関する陳情書	継 続 審 査
・知名町教委編・著書「江戸期における奄美諸島」の中から原口泉氏の暴言を訂正・削除することを求める請願書	継 続 審 査

8 月臨時会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・平成 26 年度一般会計補正予算 (第 5 号)	原 案 可 決
・平成 26 年度簡易水道事業特別会計補正予算 (第 3 号)	原 案 可 決
・平成 26 年度農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 2 号)	原 案 可 決

いっばん質問

9月定例会には、10人の議員が登壇し、ふるさと納税制度、男女共同参画、空き家対策、防災対策、さらに教育振興、農業振興など町政全般にわたり執行部の考えをたきました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

自主財源確保の手だては

徳田 進 議員



度な町債発行を行い財政の健全化に努める。

特徴事業所の完全指定へ

問 少子高齢化・人口減少に伴い、ますます交付金等の税収が減少する中、どのように自主財源を確保していくのか。

答 元田税務課長 今後の自主財源確保策として、住民税の特別徴収を徹底するために、県と協力して対象事業所の完全指定に向けて取り組んでいる。また課税と収納業務は一体的であるという観点から、収納対策課とさらに連携しながら自主財源の確保に努めたい。

効率的な財政運営を

財政運営を

答 岡元総務課長 歳入の確保に向けては、各種税金・保険料・使用料等の安定的な確保と料金の見直し、ふるさと思いやり基金の拡充・町有財産の未利用地の売却・賃貸又は地域雇用を伴う企業誘致や新たな産業振興を進める。また、歳出の抑制や適

情報提供を幅広く

問 各種補助事業は、今後島内のやる気のある個人・民間企業等に、幅広く情報を提供し、地域活性化を図るべきでは。

情報収集に努める

住田企画課長

答 地域の活性化には、行政、住民、民間企業、団体等が一体となって発意、創意工夫が必要。国・県や財団等の補助制度の収集に努め、駐在員会、広報紙、ホームページ等での情報提供を行うとともに、事業申請相談等に対応していきたい。

ふるさと納税の取り組みは

財源確保・徳之島アピールのため、ふるさと納税制度の取り組み方や対策について伺う。

問 財源確保・徳之島アピールのため、ふるさと納税制度の取り組み方や対策について伺う。

特典の見直し等を検討

住田企画課長

答 募集活動として、郷友会等へのお願い・町の

さらなる工夫が必要

高岡町長

答 高岡町長 ふるさと納税は、全



特産品詰め合わせの一例

ホームページで案内している。特典として、1万円以上の寄附に対して、徳之島農産物の加工品詰め合わせの贈呈があるが、今後特典の見直しや新たな募集方法を検討する。

その他の質問

- 農業政策について
- 下久志分校について

女性活躍の推進を

宮之原 順子 議員



問 町総合計画や男女共同参画基本計画に、女性のあらゆる分野への参画、社会参加の推進が明記されている。各種協議会や委員会等への女性の積極的起用、職場での女性管理職登用の計画の進捗状況は。

町総合計画や男女共同参画基本計画に、女性のあらゆる分野への参画、社会参加の推進が明記されている。各種協議会や委員会等への女性の積極的起用、職場での女性管理職登用の計画の進捗状況は。

進捗状況は

横ばい

住田企画課長

答

平成25年3月に「徳之島町男女共同参画基本計画」を策定し、施策方針決定の場への男女共同参画の促進を掲げ、各種審議会、委員会等への女性の積極的

登用を図るとしている。しかし、その進捗状況は、計画策定時とほとんど変わっていない。

4～5年後に登用

答 岡元総務課長

女性の課長職はいないが、補佐級職56人中女性職員は16人28・6%、係長級職21人中10人47・6%となっている。今後さまざまな経験を積むことにより、4～5年後には、複数の課長職へ女性職員の登用を考えたい。

特定健診受診で

医療費抑制を

問

町民の健康寿命向上や医療費抑制のため、特定健診の受診率向上対策はどのように考えているか。

受診後の
追跡調査

答

政本健康増進課長

受診しやすい環境整備、若年健診事業等や受診後の追跡調査等を重点的に「自分の健康は自分で守る」という意識づけや生活習慣病予防のきっかけ作

りを行い、受診率向上に取り組んでいきたい。

認知症チェック
シートの導入を

問

認知症対策の一つとして、町のホームページで、認知症チェックシートを導入し、本人や家族が

認知度を自己チェックできるようなシステムを導入してはどうか。

導入へ向け検討

答

宮之原介護福祉課長

認知症のチェックシートは、役場介護福祉課の窓口カウンターに、リーフレットやパンフレットを常備してある。町のホームページに家族でも自己チェックできるよう検討していく。

その他の質問

○公共施設のバリアフリー対策について

年に一度は健診で健康チェック



次回の定例会は 12 月です

みんなで議事を傍聴してみませんか。手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎ 82-1111 (内線 331 番)



議会傍聴の様子

※ 定例会の様子をインターネットでご覧いただけます。町のホームページから「議会中継」にアクセスしてください。

適切な情報手段を

是枝 孝太郎 議員



問 異常気象により、全国で風水災害が頻繁

に発生している。地域の情報手段として防災無線電波塔の設置場所と、戸別受信機設置が適切に行われているか。また避難時の適切な情報のあり方について伺う。



防災無線の電波塔（左）と中継局（神嶺地区）

早期の情報伝達を行う

答 岡元総務課長

電波塔の電波強度等は、調査して対応したい。戸別受信機は、全戸設置へ取り組んでいる。情報は、防災無線や防災メール等で避難所開設等の早期伝達を行っている。今後は、事前対応行動計画の活用も考えたい。

助成金等の確定方法は

問 本町における助成金、補助金、負担金のあり方について、どのような方法で確定しているのか。また今後どのような対応をするのか伺う。

評価会議の設置を検討

答 岡元総務課長
各種補助金等は、各

担当課で審査を行い、予算編成会議で事業計画内容・必要性等を検討し、予算措置を行っている。今後は、費用対効果も含めた各種補助事業等評価会議の設置を検討したい。

答 岡元総務課長

事業の公募方法は

問 町の事業に係る公募について、どのような方法で行われているのか伺う。

メール等の活用も検討

答 里内農林水産課長
事業公募は、町の広報紙並びにホームページを活用し、広く情報提供を行う。また、集落農政座談会等でも、各種制度・事業等の説明を行っているが、今後は、メール等の活用も検討したい。

里内農林水産課長

施設園芸や新しい作目で振興を

富田 良一 議員



問 農業振興策として、平張り施設、強化ハウスに挑戦している農家の支援など、島の持つ多様な農業の可能性に注目し、新しい作目にもチャレンジすべきと考えるがどうか。

農地・地域農業を担う経営体を育成確保したい。

特産品開発と販路拡大

人・農地プランで

答 里内農林水産課長
台風災害等に強い平張りハウスや強化ハウスは必要であるが、事業費が高額のため、奄振交付金等を活用したい。また、国営畑かんを利用した生産性の高い高収益品目等の推進体制を整備拡充し、「人・農地プラン」の活用で、将来の

里内農林水産課長

関係機関と連携を図る

答 幸田地域営業課長
現在、特産品は果実のゼリーやパイアの商品等を開発している。またギフトカタログ等も制作中である。各郷友会の方々とも連携し、リピーターの拡大に努めるとともに、大手食品会社との連携を目指している。

幸田地域営業課長

(次ページへ続く)

(前ページからの続き)

空き家対策の 現況は

問 空き家の増加が問題視されており、防犯・防災上の大問題を起こしかねない状況になっている。空き家対策の現況と今後の取り組みについて伺う。

町内には951戸の空き家があり、空き家率は17%。空き家が原因で、台風や火災等により、周囲に被害を与えた例もある。撤去するうえでの行政代執行や解体費補助制度などを含

条例の制定で

岡元総務課長

めた、空き家等適正管理条例の12月議会での制定に向けて進めたい。

利用促進を図る

住田企画課長

空き家は、撤去を含めた適正な管理が利用促進を図る対策が必要。活用促進の有効手段として、「空き家バンク制度」の設置を検討していく。

農家労働力の軽減を

保岡 盛寿 議員

が、実用化に向けての見解を伺う。

※ハイクリブームとは、一般的に「兼用管理機」と言われ、薬剤タンクを積み広範囲に散布する機械のことである。

問

バレイシヨ農家の労働力軽減を図るために、※ハイクリブームでのえき病防除が効果的と考え



ハイクリブームでの作業の様子

活用推進を図る

里内農林水産課長

バレイシヨはブランド指定を受け、野菜のエリアとして栽培されているが、単収向上の重要課題が、えき病対策だ。平成24年度からモデル地区でのハイクリブームの活用を行っている。引き続き活用推進を図りたい。

早期に

新校舎建設を

問

東天城中学校校舎は老朽化が進み、生徒の学習の場としては安全性の面からも適正な環境とは言えない。校区民も早急な新校舎建設を望んでいるが、建て替え計画について伺う。

答申を基に

校舎を建築

答

琉学校教育課長
現在本町で、幼小中

学校再編計画が進められており、再編計画委員会・再編検討委員会等の答申を受け、東天城中学校の校舎建築も含め、答申を基に校舎建築を推進していく。

輸送コスト

支援事業とは

問 奄振交付金の創設によって、平成26年度から農林水産物輸送コスト支援事業が実施されている。農家は費用軽減を期待しているが、事業の概要を伺う。

補助対象

要件あり

答 里内農林水産課長
対象農林水産物55品目のうち、農産物は40品目

である。補助対象要件があり、農業協同組合又は農事組合法人等が対象で、農業者等の組織する団体等は、対象要件等で難しい。

水利組合の形態は

広田 勉 議員



問 花徳・神嶺地区の水利組合は、徳之島タ

ムの完成後までにできる新しい組合との合流はないか。今のこのままの形態でやっていくのか。また、両組合の中には、いろんな不満の声があつたが、現在の運営状況はどうか。

現状のまま

活動

答 深水耕地課長
徳之島ダムは、現在貯水機能を確保するため、湛水試験中だ。神嶺・花徳地区水利組合は、現状のまま。受益者に対し、組合組織の

重要性、総会参加への理解を求めていく。現在は、新役員のもとで活動している。

史実変更記載を

削除に

問 知名町教育委員会編「江戸期の奄美諸島」の中で、「薩摩の倒幕資金は、奄美の黒砂糖の収益でなく、上海貿易によるもの」との新説を披露して、その根拠を求めても実証科学的証明もしない。公的機関の刊行物なので、誤った認識が定着しかねないので、削除させるべきでは。

教科書の内容で

指導

答 秋武教育長
現在使用している教

科書は、文部科学省の検定を受けたものであり、各学校では、「奄美群島の黒砂糖は薩摩藩の大きな財源になった」ということを教えている。財源の具体的な使途については、取り扱っていない。

特老への

入所待機者は

問 特別養護老人ホームへの入所待機者は何人か。ショートステイすら希望してもなかなか利用できず、混んでいて順番待ちの状態のようだが。

特別養護老人ホームへの入所待機者は何人か。ショートステイすら希望してもなかなか利用できず、混んでいて順番待ちの状態のようだが。

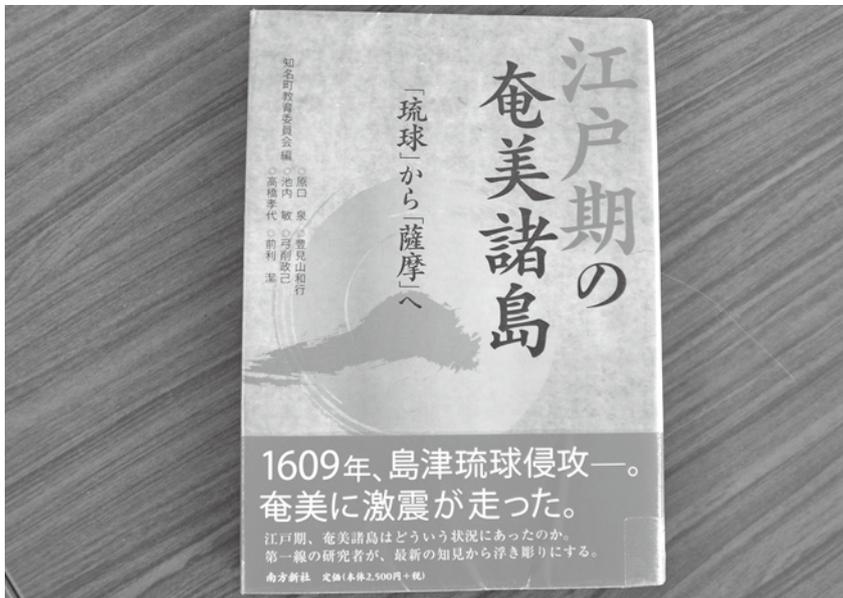
待機者 74 人

宮之原介護福祉課長

答 特老の入所待機者は、74人だが、要介護3以上は20人だ。近年、施設がふえた関係で優先度の高い方は、年間30〜40人は入所している。ショートステイは、系列にこだわらなければ利用できる。

その他の質問

- 水道課の今後の課題について
- 設計変更について
- 介護利用について



知名町教育委員会発行の「江戸期の奄美諸島」

支援事業等の検討を

行沢 弘栄 議員



の衰退や交通手段の不足で、日常の買い物や通院が不自由で不満は高いレベルだと思う。見守り活動等を含めた支援事業等を町で検討できないか。

問 少子高齢化が進む中、自家用車を持たない方にとっては、近隣商店街



デマンドタクシー等で元気に外出を

地域支援事業の 拡充で

答 宮之原介護福祉課長
社会福祉協議会で実

施している軽度生活支援事業や、「きゆううがめら」活動で買い物等の日常生活支援や見守り、声かけ活動を行っている。来年からの介護保険制度改正に伴い、地域支援事業の拡充を図っていく。

街路灯への 補助を

問 高齢化と人口減の影響で各地域の自治会

は、街路灯の設置とその電気料金の負担に大変苦慮している。防犯・防災の観点からも、この現状に補助金等は考えられないか。

増設へ取り組み

答 岡元総務課長
毎年 50 灯分の設置助成を行っているが、まだ集

落からの要望数には応えきれない現状がある。空き家等がふえて、暗く危険な場所が多くなっているの

で、防犯・防災を考え、街路灯の増設を急ぎたい。

要望書の対応は

問 各課へ要望書が出ているが、対応した件

数は。直面する地域課題解決に、住民が行政に頼るだけではなく、担い手として参画していくよう地域コミュニティを再生するところが不可欠だと考える。原材料予算の対応はできるか。

できるだけ 協力をしたい

答 麓建設課長
平成 24 ～ 26 年まで対応した件数は 19 件だ。地域

のボランティア活動で、道路整備等を行うのであれば、生コン等や原材料は、町としてもできるだけ協力をした。

自然遺産登録をチャンスに

幸 千恵子 議員



期待される。地域活性化や自然環境教育等へ大きな効果をもたらすものと思う。

ツアーガイドの 養成中

答 幸田地域営業課長
奄美群島広域事務組合とエコツアーリズムの推進

の中、エコツアーガイド養成講座に 8 人申請している。正式な登録までには、研修や実務をふまえて約 2 年かかる。

観光振興等に効果

答 住田企画課長
国内外へ「世界遺産

の島」として知名度が上がリ、観光客増加などの観光振興や関連物産のブランド価値の向上で、受け入れ事業者も増加し、雇用創出が

今後の検討課題に

答 米島住民生活課長
現在、海岸漂着ごみの回

収は、シルバー人材センターに委託している。有償ボランティアは、新たに予算も伴うことや窓口としての担当課の検討も含めて、今後関係者で協議していきたい。

(前ページからの続き)

火葬場への 道路整備を

問 現在の火葬場への道は、道幅が狭く非常に危険。植物工場横の町道から、し尿処理場横に整備した場合、距離は約250

メートル、関係する地主は4人。人生最後に通る道、火葬場への道を整備できないか。

関係機関と協議

答 麓建設課長
植物工場まで改良済みの亀津白久線と、現在使用している亀津下晴線を改良していく2通りの案がある。用地等の問題、財政上のこともあるので、今後関係機関とも協議して火葬場への道路整備を検討していきたい。

その他の質問
○2億5千万円の土地購入問題について
○ごみ収集について
○指名入札のあり方について

運動公園の管理体制は

鶴野 将光 議員



問 総合運動公園の多目的広場周辺の水飲み場は蛇口の栓が、意図的に外され、7月のサッカー大会時には水洗トイレも使用不能な状況で、混乱を招いたが、管理状況は。安全安心快適な公園利用のためにも、早急な対応が必要ではないか。

早急に対応する

答 深川社会教育課長
多目的広場6カ所、駐車場横休憩所2カ所について確認したところ、指摘の通り蛇口の栓がない箇所があった。早急な対応をし、あらゆる指摘を真摯に受け

止めて、指定管理者ともども日々努力改善していきたい。

旬華の今後は

問 初期改装費用に、多額の予算を投じ、毎月約50万円の赤字を出し続け、現在休業中の「アンテナショップ旬華」は、営業力、情報発信力、共に不十分である。徳之島のPR拠点として成り立っていない。今後どうするのか。

新役員のもと 再開を指導

答 高岡町長
現在旬華は、再開のめどをつけるため、原点に戻って町が掲げるラインに沿って関係者と連携を取っていく。前責任者が事情により継続できないとのこと

なので、新役員を選出したところだ。再開へ向けて、取り組むよう指導している。

美農里館の

赤字予測

問 当初、年間3000万円円の利益、黒字を計上するとの収支計画のもとに建設された美農里館であるが、現在の収支と比較した場合、どれ程の赤字を予測しているか。

その他の質問
○亀津海岸沿いグリーンベルトについて

材料費等の予算増

幸田地域営業課長

答 美農里館の今年度売り上げは、1500万円を見込んでいる。一部委託事業で運営しているため、収支に関しては、1年目ということもあり将来に向けて努力する。また、材料費等が予算より多くなっている。



蛇口が壊されている水飲み場

あなたのご意見をお寄せください

議会に対する質問や意見、または本紙に対する意見や希望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

徳之島町議会事務局 ☎82-1111 (内線 331 番)

議員研修レポート

レポート① 議会だより編集委員長 幸 千恵子

「議会だより」は自治体広報とは違う視点で！

今年4回発行の「議会だより」は5人の広報編集委員と議事事務局の共同作業で作成されています。

今年も県の議会広報紙づくりスキルアップ研修が、8月28日にホテルウエルビューかごしまで開催され、参加してきましたので報告いたします。

まず県町村議会議長会の田之畑稔会長から、「議会だよりは、議会活動の実態を適切に町民に報告することで、町民と議会の信頼関係を構築し、町民の付託に応える健全な議会の役割を果たし、町民との双方方向のコミュニケーションの役割を担う大きな意義を持つものである。町民に読んでもらえる、住民参加でわかりやすく興味のもてる紙づくりが課題」とのあいさつがありました。全国でも広報紙づくりに関

レポート② 新議員代表 鶴野 将光

8月29日、県町村議会議長会会室で新議員研修会があり、議長会事務局次長、中村逸朗氏より講義を受けました。

講義内容は、主に「議員の心得」

「議員の発言」「一般質問」等々で、議員にとつての基礎中の基礎、言わば必修講義であり、それだけに確実に頭と心に刻まねばならない重要なものであります。

1. 議員の心得

○議員は、自分がどうという資格と役割をもって会議に参加するのをおろそかすなず頭に置き、更に自己の役割の重要性を常に認識していなければならない。

○住民の代表機関としての議会は、全体として独任の公選首長とその下の職員の行政活動に対し、民主・公平・透明・効率の観点から監視・牽制・批判するといった「野党的機能」を果たさなければ二権間の均等は保持し得ない。(執行機関とは一歩離れて、二歩離れるな)

2. 議員の発言
○住民の代表である議員は、住民の意思「要望や希望」を的確に把握し、議会に反映させることが要請されている。そのために

は議会で積極的な議論が行われる必要があることから、発言は尊重されその自由が保障されている。

○発言の自由があるからといって、どんな内容の発言も許されるというのではない。民主主義を基盤とする議会においては、会議のルールに従った節度ある発言が求められている。

3. 一般質問

○行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行状況及び将来に対する方針等について疑問点をただし、所信の表明を求めらるもの。

○日常生活活動の中で、常に一般質問に関する心構えを持つ。

○一般質問は、議員に与えられている固有の権能であり、その質問権限は法律根拠をつくるまでもない、当然のものである。

以上のように、この研修・講義を通して改めて確認したこれらの当然至極を現に行動をもってし、初めて議員 議会として成立し得るのであり、議員としての意識欠如がすなわち議会の機能停止に直結するものであります。

議会の動き

7月 2日 三力町議会議員連絡協議会事前会議(伊仙町)

3日 議会だより編集委員会

14日 徳之島の教育を考える人の集い

17日 議会だより編集委員会

18日 三力町議会議員連絡協議会役員会(伊仙町)

19日 亀津中央通り会夏祭り

26日 あなたのそばで県議会(奄美市)

30日 奄振予算要請活動(東京)

31日 第15回子ども議会

8月 4日 サトウキビ夏植推進出発式

20日 第3回臨時会

24日 母間ちゅつきゃい節

27日 徳之島三力町合同防災訓練検討会・懇親会

28日 JAあまみ徳之島地区野菜部会総会

29日 新議員研修会(鹿児島市)

30日 田袋吉三・チワ夫妻寿賀の祝い

31日 第46回徳州地域女性連大会

9月 11日 議会運営委員会

13日 「集団的自衛権」に関する研修会(鹿児島市)

17日 第3回定例会開会

19日 関西手々郷友会表敬訪問・交流会

20日 第41回ねりんスポーツ大会

21日 各中学校体育祭

26日 第3回定例会閉会

28日 各小学校運動会

30日 徳之島空港利用促進協議会(天城町)

27日 徳之島三力町合同防災訓練検討会・懇親会

28日 JAあまみ徳之島地区野菜部会総会

29日 新議員研修会(鹿児島市)

30日 田袋吉三・チワ夫妻寿賀の祝い

31日 第46回徳州地域女性連大会

9月 11日 議会運営委員会

13日 「集団的自衛権」に関する研修会(鹿児島市)

17日 第3回定例会開会

19日 関西手々郷友会表敬訪問・交流会

20日 第41回ねりんスポーツ大会

現 地 調 査 の 様 子



移設された遊具施設



カフェみのり館での昼食会

議 会 活 動 ス ナ ッ プ



平成 25 年度決算審査の様子

編 集 後 記

加工セ
ンター美
農里館、
水耕栽培
場、この

ところ本町で、いわゆる箱物の話題が相次いでおります。自治体の経営を考えたとき、どんな組織でも組織の目標に向かって経営資源をどのように使うか、最適化するかが、基本的な経営課題であり、経営資源とは、人・物・金・情報であります。

自治体は民間企業のように利益の追求ばかりが目的の組織ではありませんが、お金という経営資源は、重要な位置付けであることに変わるものではなく、むしろ民間企業以上にお金の持つ重要性は大きいと考えます。

加工セ
ンター美
農里館、
水耕栽培
場、この
ビスの量がふえるという錯覚を起こしやすく、きちんとした収支計算の基に整備された箱物は少なく、「ないよりあったほうがいい」「隣の自治体にあるからうちも持つ」といった意識を反映した政策判断でつくられていることも多々あり、こうした判断の積み重ねが、箱物本来の設置目的、使命をゆがませ、つまり箱物を「つくる」ことが目的化されているのではないのでしょうか。

そして、全ての箱物は何十年にわたって税金で整備されてきた「町民財産」であるにもかかわらず、その中には受益者が偏り、また人員の張り付けと税金の注ぎ込み方が肥大化しているものが多い。

自治体における行政サービスは、箱物で行われることも多いため、箱物の数が多ければ多いほど行政サー

やさらに多い運営費がかかります。整備した後も何十年にわたって経費がかかり続けます。

有名な話に、煮立った熱湯の中にカエルを投げ込むと、そのカエルは熱さに驚き熱湯から飛び跳ね生き残ることができると、水の中に入れ加熱していくと、状況の悪化に気づかずゆであがって死んでしまうという話がありますが、我々町民もこの徳之島町の状況を正確に判断していかなければなりません。

「箱物事業」そのほとんどは借金となって、次の世代に遺されることとなります。箱物を整備すれば、その先で建設費の何倍もの維持費

文責 鶴野 将光